

# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI会長/ステファニー・アーチック  
RI.D2590ガバナー/長戸はるみ  
横浜旭RC会長/北澤 正浩

ガールスカウト  
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33/〒241-0836  
TEL.080-1215-6668/FAX.045-362-0024  
<http://yokohamaasahirc.org>  
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3/4Fコミュニティサロン  
例会日 月3回水曜日/12時30分～1時30分

## 2024年12月18日 第2565回例会 VOL.56 No.18 夜間移動例会 希望ヶ丘幼稚園にて

■司会 SAA 市川 慎二

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

### ■出席報告

会員数	21名	本日の出席数	14名
本日の出席率	73.68%	修正出席率	73.68%

### ■本日の欠席者

日向、草柳、佐藤（真）、関口、関澤、宋

■他クラブ出席 新川、五十嵐（地区）

### ■ゲスト

廣瀬 貴樹様（一般社団法人かけはし・代表）

松本雄一郎様（まこと幼稚園・園長）

河原 成人様（左近山幼稚園・園長）

大内 良臣様（県立二俣川看護福祉高等学校・副校長）

山川 典子様（県立二俣川看護福祉高等学校・教頭）

■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんばんは。

本日は年末の大変お忙しい中、例会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今年も残すところわずかとなりましたが、こうして多くの皆様と一緒に今年最後の例会を迎えられることを、心から嬉しく思います。

本日は、いつもと少し趣向を変え、この初めての会場で例会を開催することとなりました。朝早くから会場準備を進めてくださった市川幹



クラブより一般社団法人かけはしへ寄付金贈呈

事をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。いつもながら、皆様の支えがあってこそ、このクラブが円滑に活動できていると感じております。

先週土曜日には、当クラブが主催する講演会「イタリアに学ぶ防災のTKB」を開催いたしました。この場をお借りして、集客にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。おかげさまで、多くのお客様にご来場いただきました。

来場者のアンケート結果では、「とてもためになった」「新しい視点が得られた」との声を多数いただきました。この3カ年プロジェクトの意義を再確認し、講演会が大成功であったことを改めて実感しております。しかし、これをゴールとせず、今後も地域の防災に役立つ取り組みを積極的に進めてまいります。引き続き、

クラブ全員のご協力をお願い申し上げます。

また、講演会の夜に開催いたしましたクリスマス例会も、大変盛り上がるものとなりました。普段は真剣に議論を交わす私たちですが、このように楽しいひとときを共有できるのも、ロータリークラブの魅力のひとつだと感じております。

本日お越しいただいたゲストの皆様にも、こうしたロータリーの活動や魅力を少しでも感じていただけたら幸いです。どうぞ、今後とも私たちの活動にご注目いただき、一緒に新しい未来を築いていただければと思います。

最後になりますが、2024年も多くの方々に支えられ、無事に活動を続けてこられましたことに感謝申し上げます。来年も、さらに地域のため、社会のために意義ある活動を行ってまいりますので、引き続きどうぞよろしく願い申し上げます。

本日はよろしく願いいたします。

#### ■幹事報告

市川 慎二

※矢田会員ご家族から手紙を頂きました。ご紹介させていただきます。

横浜旭ロータリークラブ会長様 会員の皆様へ

早いもので本年も残りわずかとなりました。

皆様におかれましては、お忙しい毎日をお過ごしの中、このような時間を作って頂きましたこと心より感謝申し上げます。

本来でしたらこちらから出向きご挨拶しなくてはいけないところですが、市川先生の言葉に甘え、つたない文章ですが代読して頂く運びとなりました。

ここに生前父矢田昭一がお世話になりましたこと、会より過分なご心遣いを頂きましたこと、亡き父に代わりまして厚く御礼申し上げます。

私たちにとってロータリークラブの思い出と言えば、何と言っても年末のクリスマス会でした。家族の他職員も一緒に参加させて頂き、沢山楽しい思いをさせて頂きました。

どうもありがとうございました

今もその時に撮って頂いた写真が職員室に飾ってあります。中央に写っている父は凛々し

く、頼りになる頑固でしだが優しい父でした。父の人生の中で、皆様と共に過ごした時間は大切なものだったと思います。

皆様の思い出の中にも父がいましたら大変嬉しく思います。

これから寒さも厳しくなります。皆様のご健康とご活躍、横浜旭ロータリークラブの更なるご発展を祈念申し上げ、御礼とさせていただきます。貴重なお時間をどうもありがとうございました。

令和6年12月

矢田 譲・美保

#### ■ロータリーの友紹介

新川 尚

(横組み)

p. 7～

地域社会の疾病予防と治療に取り組むには

「日本の地域医療の今」

筆者はチームポリオジャパンのメンバーで、今年の10月にパキスタンでのワクチン投与活動に参加している。

p. 28～

公益財団法人ロータリー日本財団—令和5年度事業報告—

皆様の寄付が集められているロータリー日本財団の財務状況です。

p. 47

内外よろず案内

第60回記念 絵画ロータリアン展—ヨコハマ開催 作品募集！

五十嵐会員が幹事を務める第2590地区美術親睦活動グループの展覧会のご案内です。

(縦組み)

p. 9～

この人を訪ねて

川崎大師ロータリークラブの牛山裕子さんが取り上げられています。

日米間を行き来するダイナミックな人生と人柄が伝わってきます。

#### ■三か年 project

五十嵐 正

先日の講演会では皆様に御世話になりありがとうございました。その際回収したアンケート

の結果をご報告させていただきます。

## 20241214 (土)防災先進国イタリアに学ぶ講演会 講演会のアンケート

### ■今後の講演会やイベントなどの案内を

メールで送ってもよろしいですか？

- はい 26
- いいえ 13

### ■参加を決めた理由はどうしてですか？

- 災害時の防災対策に興味があった 31
- 会員や友人・知人に勧められて 34
- その他

### ■講演会を受けてみてどうでしたか？

- とても参考になった 57
- ふつう 1
- あまり良くなかった 0

### ■講演申込・日時・場所は参加しやす かったですか？

- 参加しやすい 27
- ふつう 23
- 参加しにくい 7

### ■講演会の感想を自由にお聞かせください

▶ 熱いお話をありがとうございました。TKB48！  
イタリア並みの救助体制の早期実現を望みます。  
おいしい食事、笑顔あふれる暮らしが一番必要  
だと実感しました。※法改正へ動きましょう！

▶ すばらしすぎる講演会です。今回の内容をぜ  
ひ広めたいと思いました。

▶ 12月以外が良い。

▶ もっとお話をお聞きしたいと思いました。あ  
りがとうございました。

▶ 日本の災害に対する備えが不十分であること  
はよくわかりましたが、我々に出来ることはあ  
るのでしょうか？

▶ 地域、企業、行政としてもテーマは大変いい。  
この取組を続けて頂きたい。※企業や地域の研  
修にしてもいいような素晴らしい内容でした。  
(学校でも是非！)

▶ 大変勉強になり、貴重なお話をありがとうご  
ざいました。メディアでは知り得ない避難所の  
実体とイタリアの実例を見て、避難所が遅れて

いるという理由が理解出来ました。また、一人  
一人の災害・被災避難所の意識が低すぎるかな  
と痛感しました。(日本だと誰かが助けてくれ  
る。という気持ちが強い。)

▶ 避難所の現状と自治体の支援の現状を事例を  
含めて提示頂き、非常に参考になった。このよ  
うな現状を一人一人が認識することで改善し対  
策につながると思う。官民連携の取組が急務  
である。また自らも日頃より意識して災害に備  
える大切さを再認識した。

▶ 横浜旭 RC と同様の活動が増えて、支援の輪  
が広がれば良いと思います。Jパック水谷氏  
のお話はとても役に立ちました。

▶ 大変勉強になりました。素晴らしい話でした。  
ありがとうございました。

▶ 防災の避難について知らないことが沢山あ  
って良い学びになりました。イタリアと日本の  
避難所が全く違って、日本の精神的にも身体的  
にも大変なことが多いけど、イタリアでは避難  
所がしっかりしていて日本もイタリアのよう  
になってほしいと思った。

▶ 具体的な事例をもとに説明されて分かりやす  
かった。

▶ 公的機関では伝わってこない方のお話で、具  
体的で面白かったし、自分達では何が出来るか  
考えさせられたし、考え方も深く考えさせられ  
た。ありがとうございました。

▶ イタリアでのこともう少し聞きたかった。日  
本の法律のこと、何故変わらないのか。人権無  
視である。

▶ 12月だと慌ただしい。内容はとてもタメに  
なった。公民館とか自治会とか災害に取り組ん  
でいる人に向けて実施するのがいいのでは。

▶ とてもタメになった。

▶ 非常に学びになりました。出来ればスライド  
を資料として配布して頂きたかったです。

▶ 旭区はどうなっているのか。企業として何が  
出来るか。段ボールベッドはどの位の数を導入  
出来るのか？

▶ 非常に参考になりました。

▶とても、とても参考になった。金沢区災害ボランティアネットワークの石原です。「てんでんこ競争」のチラシの配布していただき有難うございました。今後とも災害についてのイベントなどの情報を共有させて頂ければ有難いです。

▶イタリアと日本では災害に対する考え方が違うのだと思いました。

▶分からない事を知る事が出来ました。国内で流れる報道とはかなり違いがある事に残念に思います。また講演がありましたら来たいと思います。イタリアの調理士の方が美味しい物を食べてもらおう。スバラシイ。

▶大学で社会福祉について学んでいる為、本日の話は大変勉強になりました。

▶段ボールベッドの重要性わかりました。活用がすすむように期待しています。

▶講演内容のレジメまとめ著作本などあれば情報が欲しかった。

▶長年の現場の実体験を豊富にお聞き出来て非常に参考になりました。ありがとうございました。

▶TKBの専門家ではないが、防災のために出来ること。日頃の生活から考えていこうと思います。ありがとうございました。

▶規格の統一が大事だということが特に印象に残りました。

▶とても分かりやすく参考になった。知らない事が多かったので聞いて良かった。がこの日本において災害に逢う事が本当に恐ろしいと思い政府の正しい対応を願いたい。

▶横浜旭RCって良い活動をしてるんですね。イタリアの避難所は目からウロコでした。行政の方が学び実行(法令化)して欲しい。

▶災害対策に関して、日本の遅れがよく分かり、またイタリアの素晴らしい取組に感心しました。災害の多い日本だからこそ早急に取組むべき課題だと感じます。巻込み力も大切！貴重な機会をありがとうございました。

▶避難所の現状を改めて認識出来ました。自分

も災害時に何が出来るか普段から考えたいと思いました。

▶イタリアの状況がよく分かった。日本は出来るのかな？

▶インターアクトの影響で赤十字の講習行ったりお話したりするが、まったく気にしたことが無かったものがあって驚いた。自分がなったことなく分からないけど、災害が起きた時後のことをもっと考えてみようと思った。

▶イタリアとの違いを聞いて、日本(国)は市民に厳しいなと感じました。支援する側の目線を考えたことなかったから、どのような支援をしているのかなど知れて良かったです。

▶これからの災害対策についてより考えるための講演会となりました。

▶今回初めて防災講演を受けて日本の対策が低いと感じた。イタリアを見本にこれからより良くなればいいと思う。貴重な講演会をありがとうございました。

▶とても重要な話。もっと多くの人が意識しないとはいけない内容。なのにおかしい。資料とかもっと見やすく出来ると思うし、話し方とかもっと工夫できると感じる、もっと分かりやすくなるのに。この方の場合情報は沢山もっているんで、話しの進め方うまい人とのやりとりとかで進めた方が聴衆にひびきやすいと思います。

▶大変参考になりました。パワーポイントを配布して頂けるとうれしいです。(データで)

▶日本にいるかぎり絶対に地震はおきる。段ボールベッドやエコノミークラス症候群について知れて良かったです。RACでも共用したいと思いました。

▶災害に逢いたくありません。

▶段ボールベッドの重要性を痛感しました。

▶避難所の環境整備。段ボールベッドの導入。食堂の設置。食事→美味しいものの提供。

▶日本の実体が分かりがっかりしました。

## ■ニコニコBOX

二宮麻里子/廣瀬先生本日はよろしくお願いし

ます。大内様、山川様ようこそ！

**中島 徹**／かけはし代表廣瀬様、本日はよろしくお祈いします。大内先生、山川先生、本日はお越し頂きありがとうございます。

**田川 富男**／クリスマス例会に多くの方々に参加して頂きありがとうございました。

**佐藤 勉**／(一社)かけはし廣瀬様本日は卓話よろしくお祈いします。まこと幼稚園松本様、左近山幼稚園河原様、二俣川看護福祉高等学校大内様、山川様ようこそ。

**岡田 隆**／市川さん素晴らしい会場、ありがとうございます。二俣川看護福祉高等学校副校長大内様、教頭山川様ようこそ。かけはし代表廣瀬様本日の卓話楽しみです。よろしくお祈いします。

**中谷 逸希**／廣瀬様、本日の卓話よろしくお祈いいたします。楽しみにしています。

**五十嵐 正**／二俣川看護福祉高等学校大内様、山川様、本日はお越しいただきありがとうございます。かけはしの廣瀬様卓話よろしくお祈いいたします。

**新川 尚**／かけはし代表廣瀬様、卓話よろしくお祈いします。二俣川看護福祉高等学校大内副校長、山川教頭ようこそ。市川さん例会場ありがとうございます。

**安藤 公一**／かけはし代表廣瀬様、本日の卓話よろしくお祈いします。二俣川看護福祉高等学校大内副校長先生、山川教頭先生ようこそいちゃいました。今後ともよろしくお祈いします。先週の講演会、X'masパーティー大成功でした。準備された方々お疲れ様でした。

**佐藤 利明**／廣瀬貴樹先生卓話よろしくお祈いします。又、ゲストの松本先生、河原先生、大内先生、山川先生お忙しいところ有難うございます。

**市川 慎二**／一般社団法人「かけはし」代表廣瀬貴樹様本日は卓話よろしくお祈いします。「まこと幼稚園」松本雄一郎様、「左近山幼稚園」河原成人様、「神奈川県立二俣川看護福祉高等学校」副校長大内良臣様、教頭山川典子様よう

こそお越しくございました。先日は防災講演、クリスマス例会の開催、大成功に終わり、参加された皆様、本当にありがとうございました。

## ■卓話／不登校のこどもたちの居場所事業

廣瀬 貴樹様 (一般社団法人かけはし・代表)



この度は、お招きをいただきまして本当にありがとうございます。また昨年度に引き続き、ご支援を賜り、本当に感謝しかありません。本日は、昨年度に卓話をさせていただいてから約1年間、一般社団法人かけはし取り組んできた不登校支援事業がどのような進化を遂げることができたかをご報告させていただき、「不登校の子どもたちをどのように支援するのか」というテーマでお話をさせていただきます。よろしくお祈いいたします。

まず、簡単な自己紹介ですが、私は横浜市の公立小学校の教員として14年勤務、同じく妻は17年勤務したのち、夫婦同時に2021年3月に退職しました。人生を懸けて不登校の子どもたちの居場所づくりを行う決意でした。生活していけるのかという心配も「畑で育てているじゃがいもがあれば生きていける」という気持ちでした。2021年5月には一般社団法人かけはしを立ち上げ、妻とたった一人の子と3人での居場所がスタートしました。2年半、全力で取り組んだ結果、2023年10月には、横浜市教育委員会から不登校支援事業「ハートフル西部」を受託しました。

次に、「なぜ教員を辞めて居場所づくりなのか」という話をさせていただきます。私の教員人生の中で様々な生きづらさを抱えた子どもた

ちと出会いました。発達障害、人間関係、家庭、子どもの貧困、学校のしくみ、様々な生きづらさを抱えながら、それでも懸命に生きている子どもたちがいて、私はその子どもたちからたくさんのお話を学ぶと共に、学校の中で一教員としてできることの限界も感じていました。また子どもたちの中には、家庭に居場所がない子どももいました。私は、学校や家庭に居場所がない子どもたちのことを本気で考えたときに、「学校外での居場所の必要性」を強く考えるようになりました。同じく妻も、学校の中に不登校の子どもたちが安心できる場を作ろうと努めていましたが、「学校に行きたくても行けない」子どもたちがいる現実の中で、学校の外への意識が向くようになりました。私の考えに共感してくれた妻とともに、地域の中で居場所づくりを行っていくこと。そして、まずはたった一人の子が安心できる居場所づくりを行うことを決意しました。

現在、横浜市には9,775人（令和5年度）の子が不登校の子がおり、約半数の子が「不安・抑うつ」という状態になっています。そのうち、学校内外の機関等で、相談・指導を受けていない子どもの数は、約40%を超えています。

#### 不登校の現状（旭区）R1年度

旭区						
H30			R1			
小学校	児童数	不登校児童数	出席率	児童数	不登校児童数	出席率
	12,172	131	1.08%	12,105	147	1.21%
中学校	生徒数	不登校生徒数	出席率	生徒数	不登校生徒数	出席率
	5,261	229	4.35%	5,227	244	4.67%

小学校（24校）	中学校（12校）
147人	244人

一般社団法人かけはしでは、この現状に対して強い危機感をもっていると同時に、子どもたちを取り巻く環境が複雑になってきている中で、「不登校は誰にでも起こり得るもの」という認識をもっています。不登校の理由は、言葉にできない子が多く、要因が複雑に絡み合っていることが多いですが、その中でも、「人間関

係のつまずき」が多いと感じています。不登校の状態になると、「目を合わせられない」「話ができない」「表情がない」などの状態から「自傷行為」などの状態も見られ、命に関わることもあります。

子どもたちは、不登校の状態になると「なんで学校に行けないんだ」「自分が馬鹿だから学校に行けないんだ」と自分を責めたり、親御さ

不登校のこどもたちが安心できる居場所

安心して自分らしく居られる居場所づくり

#### 自分が自分を好きになれる＝自己肯定感

こどもたちの「今」と「未来」のかけはしになりたい  
「こどもたち」と「人」との出会いのかけはしになりたい  
「まだ知らない自分」と「新しい自分」とのかけはしになりたい  
だれもが幸せに生きることができる社会へのかけはしになりたい

んは「自分の子育てがいけなかったんだ」と責めてしまうことが多いです。そうなってしまうと、子どもたちや親は、「孤独」となり、自己否定感を強く抱きます。そういった自己否定感を居場所の中で過ごす中で「自己肯定感」を育む居場所を創りたいという思いが、居場所づくりの一番の目的です。

次に「かけはしの居場所づくり」についてです。居場所づくりをはじめから3年間は、曜日ごとに違う公共施設をお借りして移動型の居場所づくりを行っていましたが、今年度4月からは、いずみ野駅にあるスーパー跡地をお借りして拠点型の居場所づくりが始まりました。週4回（月・水・木・金）はいずみ野の拠点で、週1回（火）は、希望が丘エリアで地域の居場所づくりを行っています。

私たちは、生きづらさを抱える子どもに「とことん寄り添いたい」。そして「土になりたい」というスローガンを掲げています。素晴らしい個性をもった子どもたち一人ひとりに合わせた環境があれば、子どもたちはその子らしく自然に伸びていく。だからこそ私たちはその子たちにとっての安心できる土となるのが大事だと



いう理念をもっています。

自己肯定感を育むために、私たちは①安心②自己決定③体験④コミュニケーションという4つのことを居場所の中で大事にしています。安心をつくるためには、空間づくりが大事で、にぎやかな大勢の子が過ごせる部屋、静かに過ごせる部屋、一人で過ごせる部屋、外で過ごせる場所などがあります。子どもたちは自分で過ごしたい部屋を選び、スタッフやボランティアが一人ひとりに寄り添います。公園へ散歩したり、農園で野菜作りをしたりすることもあります。

子どもたちは、居場所でやることを自分で決める「自己決定」を意識して活動しています。私たち大人がやることを決めるのではなく、その子が自分で決めるという居場所の中で繰り返していくことが、自分の人生を自分で切り拓いていく力に繋がると信じているからです。また居場所の中で様々な「体験」ができるようにしたり、たくさんのボランティアや来ている子どもたち同士で「コミュニケーション」を図ったりする中で、自己肯定感を育めるようにしています。

安心感が生まれるとだんだんとやる気が出てくる、そして人と関わろうとする。自信がついてくると、いろいろなことに挑戦しようとする子どもたちの姿があります。居場所とは、本来その子が持っているパワーを貯める場、その子の力を信じて待つ場です。ですので、私たち大人のまなざしは「伴走者」であり、子どもたちと「一緒に居る」ということを大事にします。居場所づくりを続けてきた中で、「ここまで自

由でいいのか?」「子どもたちは本当に社会に出られるのか?」という疑問を投げかけていただくことがあります。私の中で、まだその答えは出ていませんが、居場所を卒業した子どもたちの中には、高校に進学して一生懸命に頑張っている姿、自分たちで不登校の子を支える居場所をつくろうとしている子、アルバイトをして一生懸命に自立しようとしている子がいます。

次に、旭区希望が丘エリアでの居場所づくりについてです。「Soil (ソイル)」という希望が丘エリアで子どもたちの居場所づくりを団体同士でネットワークをつくっています。「ハートフル・ポート」を中心に、「心結」「ブルーベル」「エディカル」「かけはし」「まめちゃんち」「ホープガーデン」と7団体が、連携し、それぞれの強みを生かした形で居場所を展開しています。旭区の居場所づくりにおいても全力で取り組む中で、子どもたちが安心できる居場所を増やしていきたいと考えています。

最後に、現状の課題と今後の可能性についてです。一般社団法人かけはしは、教育委員会の委託を受け、「公設民営」という形で居場所を運営しているものの、その運営が非常に厳しいものがあります。50人以上の子どもたちの生きづらさに寄り添うことは、決して簡単なものではなく、専門性や知識、経験など研鑽が不可欠です。義務教育は無償であること、誰もが等しく教育を受ける権利があることが大前提という考えに私たちは立ちながら、この不登校支援事業が、持続可能なものになるためにはどうしたらいいのか、真剣に問い続け、もがき続けながら、あきらめずに一步一步前に進んでいきたいと思っています。

旭ロータリークラブ様からいただいた恩を絶対に無駄にすることなく、全力で取り組んでまいりますので、今後ともどうかよろしく願いいたします。本日は、本当にありがとうございました。

## 2024-25年度 横浜旭ロータリークラブ 第十二回理事会議事録

日時／令和6年年12月4日(水) 場所／例会場

出席者／北澤正浩 安藤公一 五十嵐正 岡田 隆 田川富男 新川 尚 関口大樹 市川慎二 欠席者／佐藤真吾

### 【報告事項】

#### ◎地区関係

- 1、12月12日(水) 18:00～ 第3回第5グループ会長幹事会 新横浜グレイスホテル 北澤・市川
- 2、12月18日(水) 15:00～ 地区ロータリー財団補助金管理セミナー ソシア2 五十嵐・新川

#### ◎クラブ関係

- 1、12月4日(水) 例会時 年次総会
- 2、12月14日(土) 14:00～16:00 神奈川近代文学館 講演会「防災国先進国イタリアに学ぶ防災のTKB」
- 3、12月14日(土) 18:00～21:00 KKR ポートヒル横浜 クリスマス家族親睦会
- 4、12月18日(水) 18:30～19:30 夜間移動例会 希望ヶ丘幼稚園ホール

### 【審議事項】

#### 1、クリスマス例会予算案について

田川親睦委員長より説明があった。例会費として6万円を捻出したい。予算については週報に掲載 承認

#### 2、チャリティーコンサート予算案について 新川チャリコン部会副委員長より説明 予算については週報に掲載 承認

#### 3、防災講演会について

参加人数増員に向けて ・現在の参加者リストの確認と声掛け ・リマインド+新規の方をお誘いのお願い

・12日の会長幹事会で再度のお知らせ

参加後のアンケート ・感想・今後に求められているもの・ロータリーからのお知らせ

・クラブとして今後どうしていくかを伝える

クラブのホームページで、参加できなかった方へオンデマンド配信をしたらどうか 承認

#### 4 その他

東日本大震災および能登半島地震への今まで集めた寄付金について

寄付金の一部を東日本大震災の分として3万円をクラブでプールし、今後も東日本大震災へ支援を継続させる為に使用する。残りを能登半島地震災害義援金として日本赤十字社を通じ寄附をする。 承認

2024年度11月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安 藤 公 一	100	0	100	12	二 宮 麻 理 子	67	0	67
2	福 村 正	67	0	67	13	岡 田 隆	67	33	100
3	日 向 彰	33	0	33	14	佐 藤 真 吾	0	33	33
4	市 川 慎 二	100	33	133	15	佐 藤 利 明	—出席規定免除—		
5	五十嵐 正	100	33	133	16	佐 藤 勉	67	c	67
6	北 澤 正 浩	100	33	133	17	関 口 大 樹	67	33	100
7	草 柳 孝 広	0	0	0	18	関 澤 信 吾	33	0	33
8	増 田 嘉 一 郎	—出席規定免除—			19	宋 謹 衣	0	0	0
9	目 黒 恵 一	67	0	67	20	田 川 富 男	67	33	100
10	中 谷 逸 希	33	0	33	21	中 島 徹	67	0	67
11	新 川 尚	100	0	100	22				
例 会 日		6 日		1 6 日		2 0 日		平均	
例会出席率	$\frac{13}{20}$	65.00%	$\frac{6}{18}$	33.33%	$\frac{14}{18}$	77.78%			
修正出席率	$\frac{14}{20}$	70.00%	$\frac{9}{18}$	50.00%	$\frac{14}{18}$	77.78%			65.93%